

保健体育科指導案

指導者 廿日市市立大野中学校
T1 岡 真 吾
T2 五月女 祐香里

- 1 日 時 平成 22 年 11 月 5 日 (金) 10:40 ~ 11:30
- 2 学年・学級 第 2 学年 2 組 (男子 19 名 , 女子 20 名 , 計 39 名)
- 3 場 所 廿日市市スポーツセンター (大会議室)
- 4 単 元 名 傷害の防止「傷害の原因と防止」
- 5 単元について

(1) 単元観

保健分野の目標は、「生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てるである。健康・安全について科学的に理解できるようにすることを通して、現在及び将来の生活において健康・安全の課題に直面した場合に適切な思考・判断を行うことができるよう、自らの健康を適切に管理し改善していく思考力・判断力などの資質や能力を育成することを目指している。

本単元では、傷害の発生には様々な要因があり、それらに対する適切な対策によって傷害の多くは防止できること、また、応急手当は傷害の悪化を防止することができることを理解できるようにする必要がある。

(2) 生徒観

2 学期に入り休み時間や部活動中にけがをする生徒が増えてきていることから、慎重な行動をとる必要性を話している。応急処置については、水泳授業の前に心肺蘇生法や A E D の講習を受けており、基礎的な内容は経験している。また、保健体育科に関する事前アンケートの結果では、保健分野で学習した内容を実生活で生かしているかという質問に対し、肯定的な解答 (生かしている) は 3 4 % で実生活に生かすことができていない。

本学級は、授業に集中して積極的に取り組もうとする生徒が多く、班長を中心として班活動がうまく機能している。また、班の中で助け合いながら、協力して物事に取り組もうとする意識が形成されている。

しかし、個人で考えを深め、自分の意見を表現することを苦手とする生徒が多く、本学級の課題である。

(3) 指導観

指導にあたっては、傷害の起こる要因を分析させ、その要因に対する適切な対策によって発生を防止できることを理解させる。

そのために、事故やけがの発生に至る要因について自己の生活や行動を振り返らせ、傷害の発生を未然に防ごうとする姿勢を育成する。

また、本単元では心肺蘇生法や包帯法など実習を行い、理解を深める内容が多いことから、養護教員との T ・ T の指導や専門性を有する教職員等との連携を図り工夫する。

6 単元の目標

- (1) 傷害の防止について関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組むことができるようにする。
- (2) 傷害の防止について、課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、科学的に考え、判断し、それらを表すことができるようにする。
- (3) 交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因やその防止対策、応急手当について、課題の解決に役立つ基礎的な事項及びそれらと生活とのかかわりが理解できるようにする。

7 単元の評価規準

健康・安全への 関心・意欲・態度	健康・安全についての 思考・判断	健康・安全についての 知識・理解
<p>・ 傷害の防止について、健康に関する資料を見たり、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>・ 傷害の防止について、課題の解決に向けての話合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。</p>	<p>・ 傷害の防止について、健康に関する資料等で調べたことを基に課題や解決の方法を見付けたり、選んだりするなどして、それらを説明している。</p> <p>・ 傷害の防止について、学習したこと自分たちの生活や事例などと比較したり、関係を見付けたりするなどして、道筋を立ててそれらを説明している。</p>	<p>・ 交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因について理解したことを言ったり、書き出したりしている。</p> <p>・ 交通事故などによる傷害の防止について理解したことを言ったり、書き出したりしている。</p> <p>・ 自然災害による傷害の防止について理解したことを言ったり、書き出したりしている。</p> <p>・ 応急手当について理解したことを言ったり、書き出したりしている。</p>

8 単元の指導と評価の計画（全8時間）

時間	学 習 内 容	評 価 計 画				
		関	考	知	評 価 規 準	評価方法
1	<p>傷害の原因と防止</p> <p>・ 傷害は人的要因や環境要因がかかわって発生することを理解する。</p> <p>・ 傷害を防ぐにはそれぞれの要因に対して適切な対策を取る必要があることを理解する。</p> <p>【本時】(1 / 8)</p>				<p>ア 傷害の防止について、健康に関する資料を見たり、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>イ 傷害の防止について、健康に関する資料等で調べたことを基に課題や解決の方法を見付けたり、選んだりするなどして、それらを説明している。</p>	<p>行動観察 ワークシート</p>
2	<p>交通事故の現状と防止</p> <p>・ 交通事故の現状と原因について理解する。</p> <p>・ 交通事故の発生要因（人・車・環境）について理解する。</p>				<p>ウ 交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因について理解したことを言ったり、書き出したりしている。</p> <p>イ 傷害の防止について、学習したこと自分たちの生活や事例などと比較したり、関係を見付けたりするなどして、道筋を立ててそれらを説明している。</p>	<p>行動観察 ワークシート</p>
3	<p>交通事故の防止</p> <p>・ 交通事故はどうしたら防ぐことができるのかを考える。</p>				<p>ウ 交通事故などによる傷害の防止について理解したことを言ったり、書き出したりしている。</p>	<p>行動観察 ワークシート</p>

4	<p>自然災害に備えて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然災害の現状を知り、もし起こったときの対応について考える。 ・日頃から災害に備えておくことが大切であることを理解する。 			<p>ア 傷害の防止について、健康に関する資料を見たり、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>ウ 自然災害による傷害の防止について理解したことを言ったり、書き出したりしている。</p>	<p>行動観察 ワークシート</p>
5	<p>応急手当の意義と手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応急手当の必要性和目的を理解し、応急手当の方法を身につける。 			<p>ウ 応急手当について理解したことを言ったり、書き出したりしている。</p> <p>ア 傷害の防止について、課題の解決に向けての話合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。</p>	<p>行動観察 ワークシート</p>
6	<p>意識がない場合の手当て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・傷病者を発見した際の適切な手当の仕方を、実習を通して身につける。 			<p>ウ 応急手当について理解したことを言ったり、書き出したりしている。</p>	<p>行動観察 ワークシート</p>
7	<p>きずの手当</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きずの手当の基本を理解する。 ・止血の方法を実習を通して身につける。 			<p>ウ 応急手当について理解したことを言ったり、書き出したりしている。</p> <p>ア 傷害の防止について、健康に関する資料を見たり、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。</p>	<p>行動観察 ワークシート</p>
8	<p>きずの手当</p> <ul style="list-style-type: none"> ・包帯法や固定の方法を実習を通して身につける。 			<p>ウ 応急手当について理解したことを言ったり、書き出したりしている。</p>	<p>行動観察 ワークシート</p>

9 本時（1 / 8 時間）の展開

（1）本時の目標

傷害の防止について関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組むことができるようにする。
 傷害の防止について、課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、科学的に考え、判断し、それらを表すことができるようにする。

（2）評価規準

傷害の防止について、健康に関する資料を見たり、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。

傷害の防止について、資料等で調べたことを基に課題や解決の方法を見付けたり、選んだりするなどして、それらを説明している。

(3) 学習の展開

時間	学習活動	指導上の留意事項 () 「C」と判断される生徒への手だて	評価規準と評価方法
導入 (5分)	1 挨拶 2 本時のねらいの確認	点呼で生徒の状況を確認する。(T1) 本時の目標を明確にする。(T1)	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 傷害が発生する要因とその予防対策について考えよう。 </div>			
展開 (40分)	3 本校のけが状況について	本校の保健室や病院で対応したけがの状況を説明する。(T2) ・気付いたことを発表させる。 全国の学校でのけがの現状を示すグラフを提示し、補足説明をする。 ・部活や体育の授業でのけがが多いことを認識させる。(T2)	傷害の防止について、健康に関する資料を見たり、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 (関心・意欲・態度) 行動観察
	4 傷害や事故の発生原因について	傷害の要因は人的要因と環境要因が相互の関わりで発生していることを理解させる。(T1)	(学習カード)
	<p>【事例1】その日は雨で、廊下がぬれて、滑りやすくなっていた。Aさんは休憩時間に数人の友達と追いかっこをして遊んでいた。そのうちAさんが勢いをつけてすべり、友人につかまろうとした時、友人がふざけてよけたため、その勢いで転び、前歯を折った。</p>		
5 傷害や事故の防止について	事例1の事故を防ぐにはどんな行動が必要だったのか考えさせる。(T1) ・危険な遊びをしない ・廊下を拭く ・ゆっくり歩くなど	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 一人学習 個人で考えを深める。 </div>	
6 グループ学習	事例 ~ のけがの原因について、グループで考えさせる。(T2) 机間指導しながら助言する。		

	7 発表	<p>【事例 A 君登校中の頭部打撲】 寝坊して急いで家を出た。ヘルメットのあごひもをつけず自転車登校中、スピードを出していたため、カーブを曲がりきれず転倒して頭部を負傷した。</p> <p>【事例 B 君掃除中の尾骨部打撲】 大掃除で教室のワックスがけをしていた。ロッカーの上に上がり、掲示物をはがしていた生徒が、はずし終えたのでジャンプして降りた際、滑って転倒。尾骨部を強く打って負傷した。</p> <p>【事例 C 君部活動の捻挫】 部活動が始まる前に、二人で1対1のシュート練習をしていた。シュートをしたあと体のバランスを崩し、着地に失敗した。</p> <p>事故やけがを防止するためにはどのようにすればよいかワークシートに記入させ、発表させる。(T1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集中して行動する。 ・ルールや決まりを守る。 ・ふざけない。 ・準備運動をしっかりとる。 ・悩みやイライラを早く解決する。 ・用具の点検をする。 ・天候によって行動を考える。 	<p>言語活動 これまで学んだ知識を活用し、グループ内で意見交換を行い、まとめていく。</p> <p>傷害の防止について、資料等で調べたことを基に課題や解決の方法を見付けたり、選んだりするなどして、それらを説明している。 (思考・判断)</p>
まとめ (5分)	8 本時のまとめ 9 挨拶	<p>今日の学習を振り返り、学習カードに記録しながら、次時への意欲付けを行う。(T1)</p> <p>生徒の状況を確認する。(T1)</p>	

研究主題である「生徒が意欲的に取り組むための授業づくり」への手立て
身近な本校の現状を知ることによって、自分自身にもありうることだと実感させる。
教材教具を工夫する。(本校のけがや事故のデータ、視覚教材の工夫)
グループ学習の充実を図る。